

令和3年度

北竜町一般会計・特別会計  
決算審査報告書

監査委員 井上 孝

監査委員 小坂 一行

# 目 次

## 審査の概要

1. 審査対象決算	1
2. 審査の期間	1
3. 審査の対象	1
4. 審査の要領	1

## 審査意見

1. 総括意見	2, 3
2. 各会計の審査概要	4
各会計決算総括表	4
(1) 一般会計	5
歳入	5
歳出	6
第1表 財源の状況	7
第2表 支出の状況	8
第3表 基金の状況	9
第4表 一部事務組合負担金調	10
(2) 国民健康保険特別会計	11
(3) 町立診療所事業特別会計	12
(4) 後期高齢者医療特別会計	13
(5) 介護保険特別会計	14
(6) 特別養護老人ホーム事業特別会計	15
(7) 農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計	16
3. 基金運用状況審査結果	17
(1) 奨学資金貸付金会計審査意見書	17
奨学資金貸付調書	18

# 審 査 の 概 要

## 1. 審査対象決算

- (1) 令和3年度北竜町一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和3年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 令和3年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和3年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (5) 令和3年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (6) 令和3年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 令和3年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算

## 2. 審査の期間

令和4年8月23日、24日、25日、26日（4日間）

## 3. 審査の対象

- (1) 各会計決算
- (2) 同上関係諸帳簿
- (3) 証書類及び付属書類
- (4) 財産に関する調書並びに基金運用調書

## 4. 審査の要領

- (1) 会計記録の正当性及び計数の確認
- (2) 予算執行の適否
- (3) 財産運用の妥当性

以上の点に主眼を置き、関係諸帳簿の精査及び証書類との照合、さらに必要に応じ担当課から資料の提出及び説明を求め、既往の監査の結果を参考にしながら審査の適正を期した。

# 審 査 意 見

## 令和3年度北竜町一般会計及び特別会計決算審査意見

審査に付された一般会計及び6特別会計とも決算の計算は正確であり、予算に従って適正に執行されていることを認めた。

### 1. 総括意見

#### ①一般会計及び6特別会計について

令和3年度の一般会計及び6特別会計を合わせた決算状況は、歳入5,165,457千円で前年度に比べ43,734千円(0.8%)減収し、歳出は5,084,995千円で前年度と比べ50,386千円(1.0%)減少している。

一般会計の歳入総額は3,890,437千円で対前年度比51,925千円(1.3%)の減収、町税における不納欠損額はなく、収入未済額は2,250千円でこれらを合わせた対前年度比は152千円(7.2%)増加している。また、自主財源で対前年度比184,228千円の減収、依存財源では132,303千円の増収となっている。なお、予算に対する収入歩合は95.21%、調定に対する収入歩合は99.84%であった。

歳出では総額3,828,987千円となり性質別に分類した場合、義務的経費が1,073,851千円で対前年度比116,632千円の増額となって歳出総額の28.0%を占めている。うち、人件費は465,096千円で対前年度比29,575千円(6.8%)の増、公債費は444,883千円で対前年度比50,915千円(12.9%)の増であった。歳出全体では前年度比53,917千円の減となり、歳入歳出差引残高の実質収支は901千円の黒字となっている。

特別会計の収支は国民健康保険特別会計をはじめ全6特別会計ともに一般会計からの法定繰入れ、任意繰入れをもって収支の均衡を計っている。

財政指標のうち自主財源の割合を示す財政力指数(3カ年平均)は前年度0.004ポイント減少し0.133であった。また、経常収支比率は85.6%と前年度比3.8%下降した。

## ②今後の見通しについて

一般会計及び6特別会計を合わせた決算収支状況は、前年度に引き続き単年度収支黒字決算となっている。この状況は長期にわたり続いているものの依然として歳入の根幹を成している地方交付税に影響されるところが大きい。少子高齢化、人口減少化などにより納税義務者の減少が見込まれることから、今後税収の増加を期待することは難しい。

一方、今後は高齢化の進展による社会保障費や施設の維持保全経費など、多大な財政負担が見込まれることから、収支の均衡をより意識した厳しい財政運営が求められている。また、併せて次世代の負担軽減のため地方債残高の抑制に更に取り組む必要があると思われる。

今後、限られた財源の中で新たな町民のニーズや社会的要請などを踏まえ、事業の選択と限られた財源の効率的で重点的な配分により、より最小の経費で最大の効果が得られるよう、効果的な行政運営を一層推し進める事が求められるものと思われる。このため更なる財政の健全性を維持していくことが必要と考え、次の点に特に留意され取り組む事を望むところであります

- イ) 引き続き財政状況の硬直化が進捗していることを踏まえ、経常経費の一層の節減に努め、コスト意識を十分に持ち、経費節減に努められたい。
- ロ) 税、使用料、負担金などの未収金については町民負担の公平性の観点から、早期解消に向け計画的で効果的に回収を図ること。

## 2. 各会計の審査概要

決算審査にあたり、町長より各会計にわたる決算説明書の提示があったので重複をさけ、各会計別の概要を報告する。

令和3年度各会計決算総括表は、下記のとおりである。

### 令和3年度各会計決算総括表

(単位：円、%)

会計名	歳 入					歳 出			差引残額 (C-E)	
	予算現額	調定額	収入済額	収入歩合		予算現額	支出済額	執行率		
	A	B	C	C/A	C/B	D	E	E/D		
一般会計	4,086,238,000	3,896,590,782	3,890,437,184	95.21	99.84	4,086,238,000	3,828,987,418	93.70	61,449,766	
特別会計	国民健康保険	316,325,000	319,812,287	316,104,908	99.93	98.84	316,325,000	309,415,322	97.82	6,689,586
	町立診療所	104,724,000	98,030,296	98,030,926	93.61	100.00	104,724,000	97,531,959	93.13	498,967
	後期高齢者医療	37,901,000	36,755,495	36,641,095	96.68	99.69	37,901,000	36,582,895	96.52	58,200
	介護保険	296,974,000	295,182,733	295,182,733	99.40	100.00	296,974,000	283,679,731	95.52	11,503,002
	特別養護老人ホーム	423,991,000	417,477,882	417,477,882	98.46	100.00	423,991,000	417,477,882	98.46	0
	農業集落排水及び個別排水	112,570,000	111,593,410	111,582,500	99.12	99.99	112,570,000	111,319,569	98.89	262,931
	小計	1,292,485,000	1,278,852,103	1,275,020,044	98.65	99.70	1,292,485,000	1,256,007,358	97.18	19,012,686
合計	5,378,723,000	5,175,442,885	5,165,457,228	96.04	99.81	5,378,723,000	5,084,994,776	94.54	80,462,452	
参考	前年度実績	5,352,681,000	5,220,562,439	5,209,190,788	97.32	99.78	5,352,681,000	5,135,381,126	95.94	73,809,662
	対前年増減	26,042,000	△ 45,119,554	△ 43,733,560			26,042,000	△ 50,386,350		6,652,790
	対前年比	0.5	△ 0.9	△ 0.8			0.5	△ 1.0		9.0

## (1) 一般会計

### ○歳入

- イ. 予算現額 4,086,238,000 円に対し、収入済額は 3,890,437,184 円で、収入歩合は 95.21%、対予算では 195,800,816 円の減である。また、調定額 3,896,590,782 円に対する収入歩合は 99.84%で、6,153,598 円が収入未済となっている。
- ロ. 歳入の主なものは、地方交付税が 1,759,690,000 円で歳入全体の 45.24%を占めている。以下、寄付金 444,689,397 円 (11.43%)、町債 437,107,000 千円 (11.24%)、国庫支出金 342,348,684 円 (8.8%) の順となっている。  
なお、寄付金においては、ふるさと応援寄付金が 399,485,000 円と前年度比 33.4%減となっている。
- ハ. 歳入のうち、自主財源は 966,556,135 円 (構成比 24.8%) で町税を除く主なものは寄付金が 444,689,397 円、繰入金が 123,081,120 円となっている。また、町税は 179,313,424 円で前年度比 1.3%の減となっており、自主財源は 184,228,210 円 (前年比 16.0%) の減となっている。  
(第 1 表 財源の状況参照)
- ニ. 町税の徴収率は、98.76%であり、不納欠損処分額はなく、収入未済額は 2,249,568 円で前年度と比較して 395,846 円増加している。今後においてもこれらの取扱いについて、厳正に対処され、徴収率を維持されたい。

## ○歳 出

- イ. 予算現額 4,086,238,000 円に対し、支出済額は 3,828,987,418 円で執行率は 93.70%である。差引歳出不用額は 94,999,582 円である。
- ロ. 不用額の主なものは、負担金補助及び交付金 23,032,951 円（構成比 10.9%）、繰出金 10,839,994 円（同 4.2%）、需要費 10,520,092 円（同 4.1%）等となっている。
- ハ. 歳出の性質別決算状況では、消費的経費が 2,041,141 千円で全体の 53.3%を占め、投資的経費は 600,494 千円で 15.7%となっている。（第 2 表 支出の状況参照）
- ニ. 一般会計における令和 3 年度末の町債の残高は、4,872,202,331 円で前年度比 100.02%、金額では 734,450 円の増となっている。

## ○総 括

- イ. 歳入歳出差引額は 61,449,766 円で、繰越明許費 10,124,400 円を除いた 51,325,366 円は全額翌年度に繰越された。
- ロ. 町税、使用料等の徴収率は概ね良好である。なお、農業費分担金については 3,904,030 円が収入未済となっており、引き続き納入されるように努力を期されたい。  
歳入全般については、地方交付税など国からの財源に依存するところが大きく、自主財源の総額は 966,556 千円と前年度に比べ寄付金等の減少に伴い対前年比 184,228 千円減となり、依存財源では地方交付税の増加に伴い対前年比 132,303 千円増となった。  
町税全体の収入未済額については、引き続き公正公平の観点から徴収に向け努力されたい。

## 第1表 財源の状況

歳入を自主財源と依存財源に区分すれば、次のとおりである。

### 自主財源と依存財源の対比

(単位：千円、%)

		令和3年度		令和2年度		対前年伸率
		収入済額	構成比	収入済額	構成比	
自主財源	町 税	179,314	4.6	181,650	4.6	▲ 1.3
	分担金及び負担金	10,877	0.2	16,899	0.4	▲ 35.6
	使用料及び手数料	66,376	1.7	70,750	1.8	▲ 6.2
	財 産 収 入	2,444	0.1	2,663	0.1	▲ 8.2
	寄 付 金	444,689	11.4	644,872	16.4	▲ 31.0
	繰 入 金	123,081	3.2	95,671	2.4	28.7
	繰 越 金	59,458	1.5	67,340	1.7	▲ 11.7
	諸 収 入	80,317	2.1	70,939	1.8	13.2
	計	966,556	24.8	1,150,784	29.2	▲ 16.0
依存財源	地方譲与税	42,540	1.1	42,426	1.1	0.3
	利子割交付金	114	0.0	159	0.0	▲ 28.3
	配当割交付金	577	0.0	387	0.0	49.1
	株式等譲渡所得割交付金	699	0.0	474	0.0	47.5
	法人事業税交付金	2,087	0.0	599	0.0	248.4
	地方消費税交付金	48,754	1.3	45,819	1.2	6.4
	自動車取得税交付金	0	0.0	0	0.0	-
	自動車環境性能割交付金	2,786	0.1	2,775	0.1	0.4
	地方特例交付金	2,282	0.1	1,596	0.0	43.0
	地方交付税	1,759,690	45.2	1,536,264	39	14.5
	交通安全対策特別交付金	0	0.0	0	0.0	-
	国庫支出金	342,349	8.8	517,226	13.1	▲ 33.8
	道支出金	284,896	7.4	259,347	6.6	9.9
	町 債	437,107	11.2	384,506	9.7	13.7
計	2,923,881	75.2	2,791,578	70.8	4.7	
歳 入 計		3,890,437	100.0	3,942,362	100.0	▲ 1.3

## 第2表 支出の状況

歳出の状況を性質別に区分すれば、次のとおりである。

### 決 算 状 況

(単位：千円、%)

		令和3年度		令和2年度		対前年伸率
		支出済額	構成比	支出済額	構成比	
消費的経費	人件費	465,096	12.1	435,521	11.2	6.8
	物件費	570,311	14.9	587,121	15.1	▲ 2.9
	維持補修費	97,371	2.6	80,006	2.1	21.7
	扶助費	163,872	4.3	127,730	3.3	28.3
	補助費等	744,491	19.4	995,498	25.6	▲ 25.2
	計	2,041,141	53.3	2,225,876	57.3	▲ 8.3
投資的経費	普通建設事業費	600,494	15.7	499,401	12.9	20.2
	災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	-
	計	600,494	15.7	499,401	12.9	20.2
その他	公債費	444,883	11.6	393,968	10.1	12.9
	積立金	368,773	9.7	403,617	10.4	▲ 8.6
	投資及び出資金・貸付金	35,641	0.9	33,524	0.9	6.3
	繰出金	338,055	8.8	326,518	8.4	3.5
	計	1,187,352	31.0	1,157,627	29.8	2.6
歳出計		3,828,987	100.0	3,882,904	100.0	▲ 1.4

第3表 基金の状況

(単位：円)

名 称	令和2年度末残高	令和3年度中増減		令和3年度末残高
		積立金	取り崩し	
財政調整基金	485,386,376	51,320	0	485,437,696
減債基金	286,301,823	87,637,755	4,413,878	369,525,700
公共施設整備基金	249,986,839	80,029,135	0	330,015,974
ふるさと応援基金	608,711,525	191,592,234	94,000,000	706,303,759
地域福祉基金	55,487,450	11,079	11,079	55,487,450
農業振興基金	45,105,206	3,426,774	17,814,738	30,717,242
ひまわりバンク育成基金	9,210,104	3,246,039	330,000	12,126,143
農地保有合理化促進事業基金	11,071,707	5,757	4,741,780	6,335,684
森林環境基金	4,450,477	2,770,097	822,833	6,397,741
商工ひまわり基金	12,960,508	1,555	276,895	12,685,168
青少年育成基金	61,292	1	0	61,293
生涯学習振興基金	12,413,437	1,489	669,917	11,745,009
計	1,781,146,744	368,773,235	123,081,120	2,026,838,859

※参 考

(単位：円)

名 称	令和2年度末残高	令和3年度中増減		令和3年度末残高
		積立金	取り崩し	
北海道市町村備荒資金組合納付金	150,305,085	1,142,069	0	151,447,154
国民健康保険特別会計財政調整基金	51,642,599	7,706,093	0	59,348,692
介護保険特別会計介護給付費準備基金	1,461,264	1,005,040	0	2,466,304
特別養護老人ホーム特別会計財政調整基金	1,058,320	420,019	0	1,478,339
計	204,467,268	10,273,221	0	214,740,489

※特別会計繰出金額

(単位：円)

会 計	令和2年度決算額	令和3年度決算額	増 減
国民健康保険特別会計	20,049,145	20,689,132	639,987
町立診療所事業特別会計	30,300,000	24,686,991	▲ 5,613,009
後期高齢者医療特別会計	12,566,099	11,691,045	▲ 875,054
介護保険特別会計	43,544,425	41,853,838	▲ 1,690,587
特別養護老人ホーム事業特別会計	98,467,179	113,494,337	15,027,158
農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計	69,000,000	71,200,000	2,200,000
計	273,926,848	283,615,343	9,688,495

第4表 一部事務組合負担金調

(単位：千円)

組 合 名	令和3年度 負担金額	令和2年度 負担金額	増 減	算 定 基 礎
北空知衛生施設組合	6,658	7,009	▲ 351	運営費 平均割 10%、ごみ量割 90% 建設費 ごみ量割 100%
北空知衛生センター 組合	25,150	18,865	6,285	し尿 経常経費 過去1年間の収集実績割 建設経費 北竜町 9.50% 可燃ごみ 経常経費 過去1年間の収集実績割 建設経費 均等割 10%、ごみ量割 90%
北空知葬斎組合	0	0	0	人口割 (直近の国調人口) 100%
深川地区消防組合	144,647	100,782	43,865	人口割 50%、世帯割 40%、面積割 5%、財政割 5%
空知教育センター組合	313	318	▲ 5	運営費 滝川市1/2、その他市町1/2 (平均 30%、人口 35%、 教職員 35%) 研修費 平均 20%、人口 20%、教職員 30%、距離 30%
北空知圏学校給食組合	11,088	10,572	516	運営費 実給食人数割 100% 建設費 均等割 10%、計画給食人数割 90%
中・北空知廃棄物処理広 域連合	8,455	8,609	▲ 154	運営費 前々年度まで過去3か年の平均ごみ量割 建設費 均等割 10%、固定ごみ量割 90%
計	196,311	146,155	50,156	

令和3年度 各市町別一部事務組合負担額調

(単位：千円)

組 合 名	深川市	妹背牛町	秩父別町	沼田町	雨竜町	北竜町	計
北空知衛生施設組合		10,499	9,894	10,110		6,658	37,161
北空知衛生センター組合	233,171	31,293	25,854	33,724		25,150	349,192
深川地区消防組合	508,128	100,005	81,983	141,946		144,647	976,709
空知教育センター組合	866	358	324	356	341	313	18,202
北空知圏学校給食組合	106,891	17,744	13,774	16,778		11,088	166,275
中・北空知廃棄物処理広 域連合	112,690	12,994	11,500	13,262	12,407	8,455	722,159
計	961,746	172,893	143,329	216,176	12,748	196,311	2,269,698

※ 空知教育センター組合、中・北空知廃棄物処理広域連合については、関係市町のみ記載のため計は=とにならない。

## (2) 国民健康保険特別会計

### ○歳入

- イ. 予算現額 316,325,000 円に対し、収入済額は 316,104,908 円で収入歩合は 99.93%、対予算では 220,092 円の減である。また、調定額 319,812,287 円に対しては収入歩合 98.84%で 3,699,779 円が収入未済となっており、7,600 円が不納欠損処分された。
- ロ. 国民健康保険料の収入歩合は、現年度分で 101.25%と前年度比 1.7%増となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 20,689,132 円で歳入総額に占める割合は 6.55%であり、対前年度比 639,987 円の増となっている。

### ○歳出

- イ. 予算現額 316,325,000 円に対し、支出済額は 309,415,322 円で執行率は 97.82%、6,909,678 円が不用額となっている。
- ロ. 支出済額のうち、保険給付費は 174,595,727 円（構成比 56.43%）、国民健康保険事業納付金は 98,741,000 円（同 31.91%）、が主なもので歳出総額の 88.34%を占めている。

### ○総括

- イ. 歳入歳出において、6,689,586 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 令和 3 年度末の財政調整基金残高は 59,348,692 円で前年度に比べ 7,706,093 円の増となっている。
- ハ. 国民健康保険料の徴収率は現年度分で 99.17%、滞納繰越分で 24.50%である。令和 3 年度の収入未済額は 3,699,779 円で、前年度と比較すると 308,718 円減少しているが、不納欠損が 7,600 円あり滞納者の状況把握に一層努められたい。

### (3) 町立診療所事業特別会計

#### ○歳 入

- イ. 予算現額 104,724,000 円に対し、収入済額は 98,030,296 円で収入歩合は 93.61%、対予算では 6,693,704 円の減である。
- ロ. 診療収入は、町立診療所が 57,433,145 円で前年度比 8,878,650 円増となっている。また、町立歯科診療所では 10,688,674 円で前年度比 1,020,407 円の増となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 24,686,991 円で、歳入総額に占める割合は 25.18%であり、対前年度比 5,613,009 円の減となっている。

#### ○歳 出

- イ. 予算現額 104,724,000 円に対し、支出済額は 97,531,959 円で執行率は 93.13%、7,192,041 円が不用額となっている。

#### ○総 括

- イ. 歳入歳出においては 498,337 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 診療収入は、町立診療所で対前年度比 18.29%増、町立歯科診療所では対前年度比 10.55%増であった。一般会計からの繰入金は対前年度比 5,613,009 円減の 24,686,991 円となったが、依然として高い値となっている。  
町立診療所及び町立歯科診療所の経営については、なお一層努力をされたい。

#### (4) 後期高齢者医療特別会計

##### ○歳 入

- イ. 予算現額 37,901,000 円に対し、収入済額は 36,641,095 円で収入歩合は 96.68%、対予算では 1,259,905 円の減となっている。
- ロ. 一般会計からの繰入金は 11,691,045 円で、歳入総額に占める割合は 31.91%であり、対前年度比 875,054 円の減となっている。

##### ○歳 出

- イ. 予算現額 37,901,000 円に対し、支出済額は 36,582,895 円で執行率は 96.52%、1,318,105 円が不用額となっている。

##### ○総 括

- イ. 歳入歳出においては、58,200 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。

## (5) 介護保険特別会計

### ○歳 入

- イ. 予算現額 296,974,000 円に対し、収入済額は 295,182,733 円で収入歩合は 99.40%、対予算では 1,791,267 円の減である。
- ロ. 介護保険料の徴収率は、現年度分が 100%で 53,024,271 円、滞納繰越分はなしとなっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 41,853,838 円で、歳入総額に占める割合は 14.18%であり、対前年度比 1,690,587 円の減となっている。

### ○歳 出

- イ. 予算現額 296,974,000 円に対し、支出済額は 283,679,731 円で執行率は 95.52%、13,294,269 円が不用額となっている。
- ロ. 支出総額のうち、保険給付費が 235,791,749 円（構成比 83.12%）で前年度比 4,456,934 円増、地域支援事業費 23,785,430 円（同 8.38%）が主なもので全体の 91.50%を占めている。

### ○総 括

- イ. 歳入歳出において 11,503,002 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 介護給付費準備基金残高は少額であり、今後介護給付費が増加する懸念があり、留意をされたい。

## (6) 特別養護老人ホーム事業特別会計

### ○歳 入

- イ. 予算現額 423,991,000 円に対し、収入済額は 417,477,882 円で収入歩合は 98.46%、対予算では 6,513,118 円の減となっている。
- ロ. 介護収入は、301,682,507 円で前年度比 35,859,645 円の減となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 113,494,337 円で歳入総額に占める割合は 27.19%であり、前年比 15,027,158 円の増であった。

### ○歳 出

- イ. 予算現額 423,991,000 円に対し、支出済額は 417,477,882 円で執行率は 98.46%、6,513,118 円が不用額となっている。

### ○総 括

- イ. 歳入歳出において実質収支はなく、繰り越し金もない。
- ロ. 令和 3 年度の財政調整基金残高は 1,478,339 円、対前年度比 420,019 円の増となっている。
- ハ. 入所定員を大幅に下回る現状において、今後も介護収入の減収が見込まれる事、定員確保に向け努力をされたい。

## (7) 農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計

### ○歳入

- イ. 予算現額 112,570,000 円に対し、収入済額は 111,582,500 円で収入歩合は 99.12%、対予算では 987,500 円の減となっている。  
また、調定額 111,593,410 円に対しての収入歩合は 99.99%で 10,910 円が収入未済となっている。
- ロ. 下水道使用料（浄化槽を含む。）の現年度分の収納率は 99.97%となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 71,200,000 円で歳入総額に占める割合は 63.81%であり、対前年度比 2,200,000 円の増となっている。

### ○歳出

- イ. 予算現額 112,570,000 円に対し、支出済額は 111,319,569 円で執行率は 98.89%、1,250,431 円が不用額となっている。
- ロ. 公債費は 51,082,520 円で、歳出総額の 45.89%を占めている。

### ○総括

- イ. 歳入歳出において 262,931 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 令和 3 年度末の農業集落排水事業への加入戸数は 467 戸（919 人）で区域内対象戸数 484 戸（947 人）に対し、96.5%の加入率となっている。  
また、個別排水処理事業への加入戸数は 185 戸（545 人）で対象戸数 312 戸（754 人）に対し、59.3%の加入率となっている。
- ハ. 農業集落排水事業及び個別排水処理事業使用料の滞納額は、過年度分で 10,910 円となっている。滞納額は職員の努力により、減少傾向にある。引き続き指導を含め滞納額の徴収に最善の努力をされたい。

### 3. 基金運用状況審査結果

#### (1) 北竜町奨学資金貸付基金審査意見書

令和3年度北竜町奨学資金貸付基金の運用状況について審査し、次のとおり意見を付す。

令和4年8月31日

監査委員 井 上 孝

監査委員 小 坂 一 行

#### 1. 審査意見

審査の結果、運用に関する調書の計数は正確であり、その運用は設置の目的に従って原資金の範囲内において運用されている。

## 令和3年度 北竜町奨学資金貸付調書

(単位：円)

区 分	令和2年度末 現 在 高	令和3年度中の増減			令和3年度末 現 在 高
		増	減	免 除	
貸 付	33,233,000	8,100,000	8,107,000		33,226,000
運 用	10,504,554	9,307,112	8,100,000		11,711,666
合 計	43,737,554	17,407,112	16,207,000		44,937,666

### ※令和3年度中増減の内訳

(単位：円)

	増		減	
貸 付	新規 6人	2,460,000	貸付金返還	8,107,000
	継続 11人	4,440,000	32件	
	新規 4人 (特別奨学資金)	1,200,000	一件	
	計	8,100,000	計	8,107,000
運 用	貸付金返還	8,107,000	新規貸付	2,460,000
	原 資	1,200,000		
	預金利息	112	継続貸付	4,440,000
	寄 附 金 基金積立金	0	新規貸付 (特別奨学資金)	1,200,000
計	9,307,112	計	8,100,000	
合 計	計	17,407,112	計	16,207,000